

10.4 「脱炭素×復興まちづくり」推進事業／「脱炭素×復興まちづくり」に資する計画策定、導入等補助

③ 太陽光発電システム導入による災害時対応能力の向上

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社サンエイ海苔
	業種	製造業
事業所	所在地	福島県
	総延床面積	1,785.4m ²
補助金額	補助金額	約795万円
	補助率	3/4（総リース料に対する）
主な導入設備	従前設備	—
	導入設備	太陽光発電システム
事業期間	稼働日	2023年2月15日
区分		新規
特長		太陽光発電システムの導入により、系統電力からの電力が途絶した場合の電源の確保により災害時のレジリエンスが向上した。また、再エネ率の向上により地域ブランドイメージの向上や、会社の競争力向上に繋がっている。

システム図

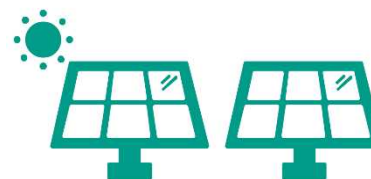
実施前

系統電力



実施後

太陽光発電パネル



写真

太陽光発電設備①



太陽光発電設備②



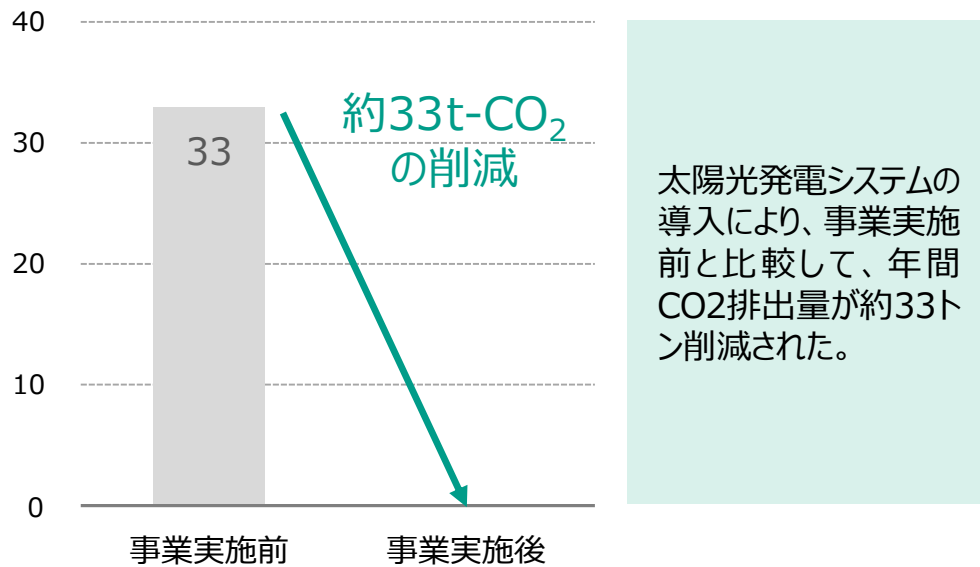
③太陽光発電システム導入による災害時対応能力の向上

事業の効果

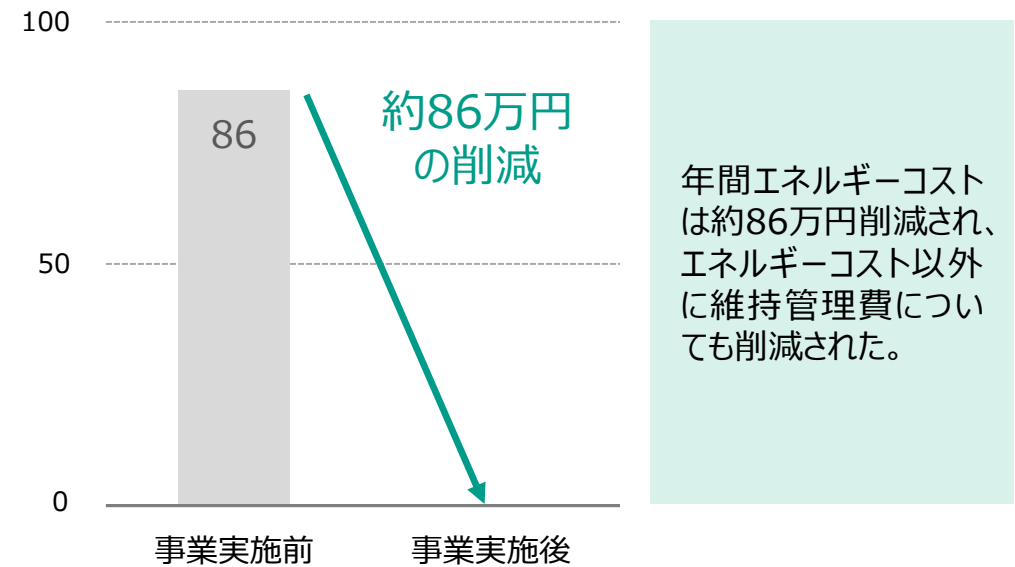
エネルギーコスト削減額		約86万円／年
投資回収年数	補助あり	約6.2年
	補助なし	約15.7年

CO ₂ 削減量	約33t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	14,348円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】
 ※ ここに示す事業の効果は、電力単価：22.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

③太陽光発電システム導入による災害時対応能力の向上

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「太陽光発電システムの導入」によって、停電時における食品の廃棄リスクを軽減できた。

- 太陽光発電システムの導入により、系統電力からの電力が途絶した場合にも電力を確保できるため、災害時の従業員に対する電力供給、食品（原材料・製品）の冷凍・冷蔵保存が可能となり、食品廃棄のリスクが低下した。
- 再エネ率の向上による地域ブランドイメージの向上や、エネルギーコストの削減による会社の競争力向上に繋がっている。また、間接的に企業雇用の拡大に繋がる。

災害時の対応能力の向上

実施前 災害時に系統電力からの電力が途絶した場合停電になる



実施後 太陽光発電システムにより、災害時にも電力供給が可能



太陽光発電設備の導入により、**災害時における対応能力が向上した。**

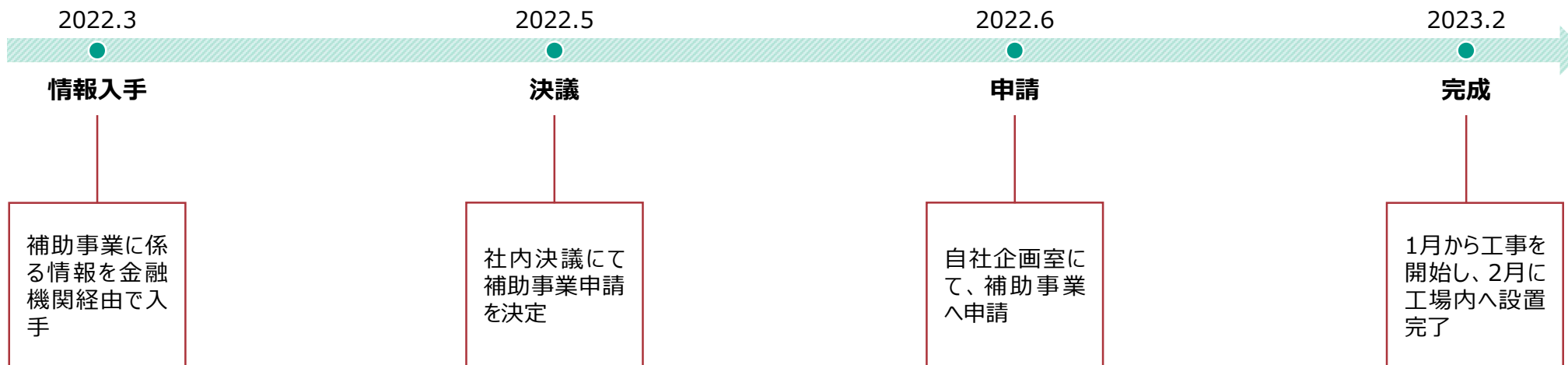
地域ブランドイメージと企業競争力の向上



再エネ率の向上によって、**地域ブランドイメージが向上した。**

③太陽光発電システム導入による災害時対応能力の向上

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



佐藤 義明
企画室 室長

- 昨今の情勢によるランニングコストの増加や資材高騰による製造コストの圧迫に苦慮しておりましたが、太陽光発電設備を導入することでコストの圧縮に効果が現われております。
- クリーンなエネルギーにて製造された商品を手にとられることで、お客様ひとりひとりが間接的にではありますが、地球環境問題に取り組むお手伝いができると考えております。